



平成30年10月31日
海上保安庁

「第14回アジア海上保安機関長官級会合」への参加について (結果概要)

10月23日から27日にかけて、2004年より我が国主導により開催している「アジア海上保安機関長官級会合」の14回目となる会合がバングラデシュ・ダッカにて開催され、海上保安庁からは岩並 秀一 長官が出席しました。

本会合では、「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」及び「人材育成」の4分野について、より実践的な協力を推進していくため、ワーキンググループを設置すること等に合意するとともに、各ワーキンググループの活動方針等について議論がなされました。

1 日程概要

日時：平成30年10月23日(火)～27日(土)
場所：バングラデシュ・ダッカ

2 参加メンバー国・地域・機関

オーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナム、バーレーン、ReCAAP-ISC

3 主な会合成果

- ・「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」及び「人材育成」の4分野についてのワーキンググループの設置及びこれらのワーキンググループの活動方針の合意
- ・バーレーンの HACGAM への正式加入を合意
- ・共同声明を採択(仮訳別添)

共同声明

第14回アジア海上保安機関長官級会合
(2018年10月24日採択)

オーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トルコ及びベトナムの海上保安機関の長は、バーレーンのオブザーバー及び ReCAAP ISC (アジア海賊対策地域協力協定 情報共有センター) のアソシエイトメンバーとしての参加を得て、各海上保安機関の権限及び任意参加の原則を最大限尊重するとの枠組みにおいて、

20カ国・1地域の会合メンバーが、地域の海上安全の確保と促進のため、連携を強化することを確認し、2014年に横浜で開催された第10回アジア海上保安機関長官級会合 (HACGAM) の共同宣言に基づき、会合メンバーの連携を継続し、主体的に同会合の枠組みを活用することにより、安全で、明るく、美しい、アジアの海を未来に繋げていくことを合意したことを想起し、

HACGAM の基本思想であるペーパーワークからフィールドへという考えに基づき、より実務的な協力関係を強化していくことの重要性を認識し、

「捜索救助」、「海洋環境保全」及び「海上不法活動の予防・取締り」という早急に対応すべき共通の課題並びにこれらの課題に対応するための礎となる「人材育成」に対応する4つのワーキンググループを設置し、実践的な協力強化及び能力向上のため、これらワーキンググループの議長国であるインド、フィリピン、オーストラリア、インドネシアのイニシアチブの下、全てのメンバーが積極的に活動していくことに同意し、

バングラデシュ、インド、インドネシア、そしてパキスタンのデザイン作成に関する貢献に感謝しつつ、これらの国により共同提案されたロゴ及びモットー “Safe Secure and Clean Seas” を HACGAM の公式ロゴ及びモットーとして採用することに同意し、

メンバー間の更なる情報共有促進を目的とした HACGAM ウェブサイト施行運用に関するインドの顕著な貢献に感謝するとともに、同ウェブサイト運用規則検討ワーキンググループを設置することに合意し、

HACGAM のスムーズな運営を目的とした会合運用規則の改正に合意し

ReCAAP ISC による報告に示されているように、HACGAM メンバー及び関係する法執行機関の取組みが、船舶に対する海賊及び武装強盗事件の件数及び深刻さの低下に繋がっていることを認識し、

バーレーン沿岸警備隊の HACGAM への加入を歓迎し、

バングラデシュ沿岸警備隊の会合開催にかかるすばらしい調整と支援、惜しみないホスピタリティーに感謝し、

トルコの 2023 年 HACGAM ホストに関する意思表示に感謝し

我々は、国家間の海上保安に関する連携が、地域の海上交通安全の確保と促進に有効であると確認し、安全で、美しい、アジアの海を確かなものとするため、この連携を維持・発展させることに同意した。